

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第3回）

日時：令和6年8月26日（月）16:20～16:50
場所：大阪市役所 5階 特別会議室

<次 第>

開会

議事

- （1）企業への働きかけについて ……資料1
- （2）TDMトライアル計画について ……資料2
- （3）今後の進め方 ……資料3

閉会

<配布資料>

- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・資料1：企業への働きかけについて
- ・資料2：TDMトライアル計画について
- ・資料3：今後の進め方
- ・参考資料1：万博TDMトライアル計画概要
- ・参考資料2：大阪・関西万博 働きかけTDMの進め方

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第3回）

出席者名簿

<会長>

吉村 洋文 大阪府知事

<会長代行>

横山 英幸 大阪市長

<副会長>

石毛 博行 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長

<委員>

松本 正義 公益社団法人関西経済連合会 会長

井内 摂男 大阪商工会議所 専務理事（代理出席）

松村 幹雄 一般社団法人関西経済同友会 常任幹事（代理出席）

<協力委員>

信谷 和重 経済産業省 近畿経済産業局長

長谷川 朋弘 国土交通省 近畿地方整備局長

岩城 宏幸 国土交通省 近畿運輸局長

原 恭 関西鉄道協会 会長

鈴木 一明 近畿バス団体協議会 会長

<事務局>

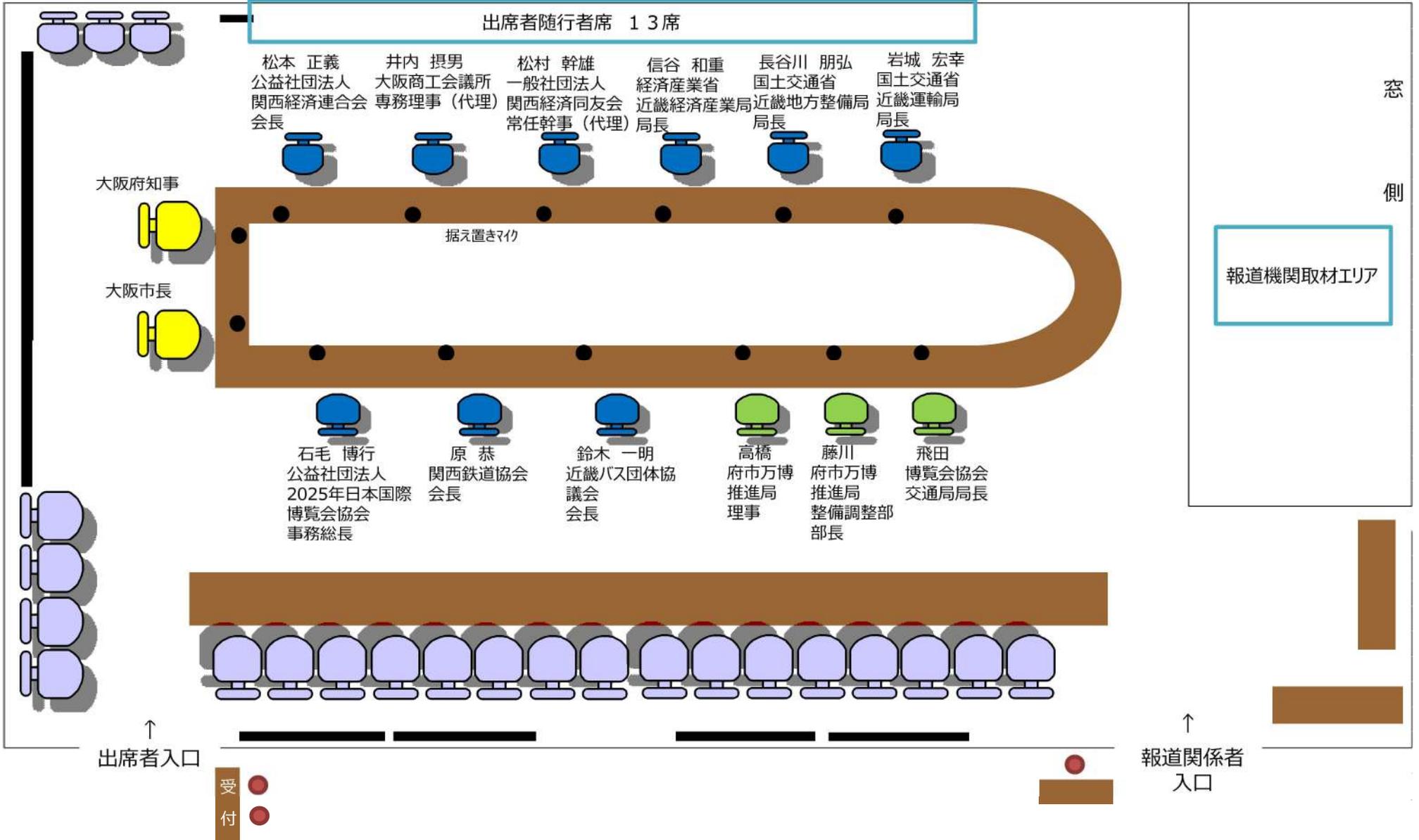
高橋 寛 大阪府・大阪市万博推進局 理事

藤川 佳宏 大阪府・大阪市万博推進局 整備調整部長

飛田 章 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 交通局長

2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議（第3回） 配席図

会場：大阪市役所5階 特別会議室



■ 万博TDMパートナー登録について

- 万博期間中の円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立を目指すため、**令和6年2月20日より、万博TDMパートナーの登録企業募集を実施**

■ 登録状況（8月23日 10時00分 時点）

- 登録件数 : 357件
- 事業所数 : 1,242事業所

| 業種 | 件数 | 事業所数 |
|--------------------|------------|--------------|
| 建設業 | 43 | 77 |
| 製造業 | 70 | 211 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 6 | 55 |
| 情報通信業 | 17 | 17 |
| 運輸業, 郵便業 | 53 | 142 |
| 卸売業, 小売業 | 40 | 100 |
| 金融業, 保険業 | 6 | 429 |
| 不動産業, 物品賃貸業 | 21 | 25 |
| 学術研究, 専門・技術サービス業 | 17 | 40 |
| 宿泊業, 飲食サービス業 | 10 | 11 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業 | 3 | 4 |
| 医療, 福祉 | 8 | 8 |
| 複合サービス事業 | 6 | 6 |
| サービス業 (他に分類されないもの) | 53 | 113 |
| わからない | 4 | 4 |
| 総計 | 357 | 1,242 |



万博TDMパートナー登録企業募集のチラシ

■ 主な取組状況（R6.2以降）

| 発信ツール | 対象数 |
|--------------------------|------------|
| メールマガジン | 約18,700社 |
| 個別依頼・訪問 | 約3,630社・団体 |
| 説明会（現地・オンライン・個別） | 27回 |
| 広報誌 | 7誌 |
| チラシ配架（駅・区役所） | 1,840部 |
| その他（会議等でのチラシ配布、SNS、HP掲載） | |



**大阪・関西万博に向けた
万博TDMトライアル計画について**

■万博TDMトライアルの目的と実施期間

トライアル期間

- 万博会期中の来場者の安全・円滑な輸送に万全を期すため、トライアル期間を設定
- 大阪・関西万博会期中において、最も来場者が集中すると予測される会期末に相当する期間の1年前をトライアル期間と設定。➔ 2024年9月30日（月）～10月4日（金）

トライアル目的

- TDMパートナー登録企業等によるTDMトライアルへの参加、並びに課題の把握
- TDMトライアル内容と低減交通量の相関関係の把握（交通量低減におけるTDMの有意性確認）
- 検証結果の公表によるTDM取組の重要性に関する企業の意識向上

◀◀2024年カレンダー▶▶

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|----|------|----|----|----|----|
| 9/22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 10/1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |

TDMトライアル期間（9/30～10/4）

◀◀（参考）2025年カレンダー（万博開催年度）▶▶

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-----------|----|------|----|----|----|
| 9/21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 10/1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 閉幕日 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |

万博最混雑期（会期末10/1～13）

※インテックス大阪でのイベント状況を加味して、9/30-10/4をトライアル期間として設定

■ 万博TDMトライアルエリア・対象

TDMトライアルエリア



来場者等により、人流・物流が集中し、混雑が予想される下記を対象

- 【重点エリア】**
- ・万博会場周辺
 - ・Osaka Metro中央線周辺
- 【主要エリア】**
- ・大阪市内等の主要ターミナル周辺の駅シャトルバス発着地

TDMトライアル対象

重点エリア・主要エリアを含む大阪府域の企業を対象に幅広く、トライアルへの協力を依頼

■ 企業の皆さまに取り組んでいただきたい取組み

具体的な行動

- <鉄道> 万博交通の集中が予測されるOsaka Metro中央線、御堂筋線の平日朝ピーク時（8時台～10時台）の利用を回避する行動
- <道路> 万博交通の集中が予測される平日午前における万博会場周辺等の一般道路、阪神高速道路の利用を回避する行動

各企業において実施可能な取組みを選択いただき、実践

主な取組メニュー



在宅勤務

- ・ 在宅勤務、休暇取得
- ・ オンライン会議の推進、共同配送
- ・ イベント開催場所や時期の変更 等



まとめて納品

『移動量・配送量を削減する取組』

により鉄道・道路の交通混雑を緩和

『混雑時期・時間帯を回避する取組』

により鉄道・道路の交通混雑を緩和

『混雑場所・ルートを回避する取組』

により鉄道・道路の交通混雑を緩和



時差出勤

- ・ 時差出勤
- ・ フレックスタイム
- ・ リードタイム（納品時期等）の変更
- ・ 配送時間の変更 等



納品時期の変更



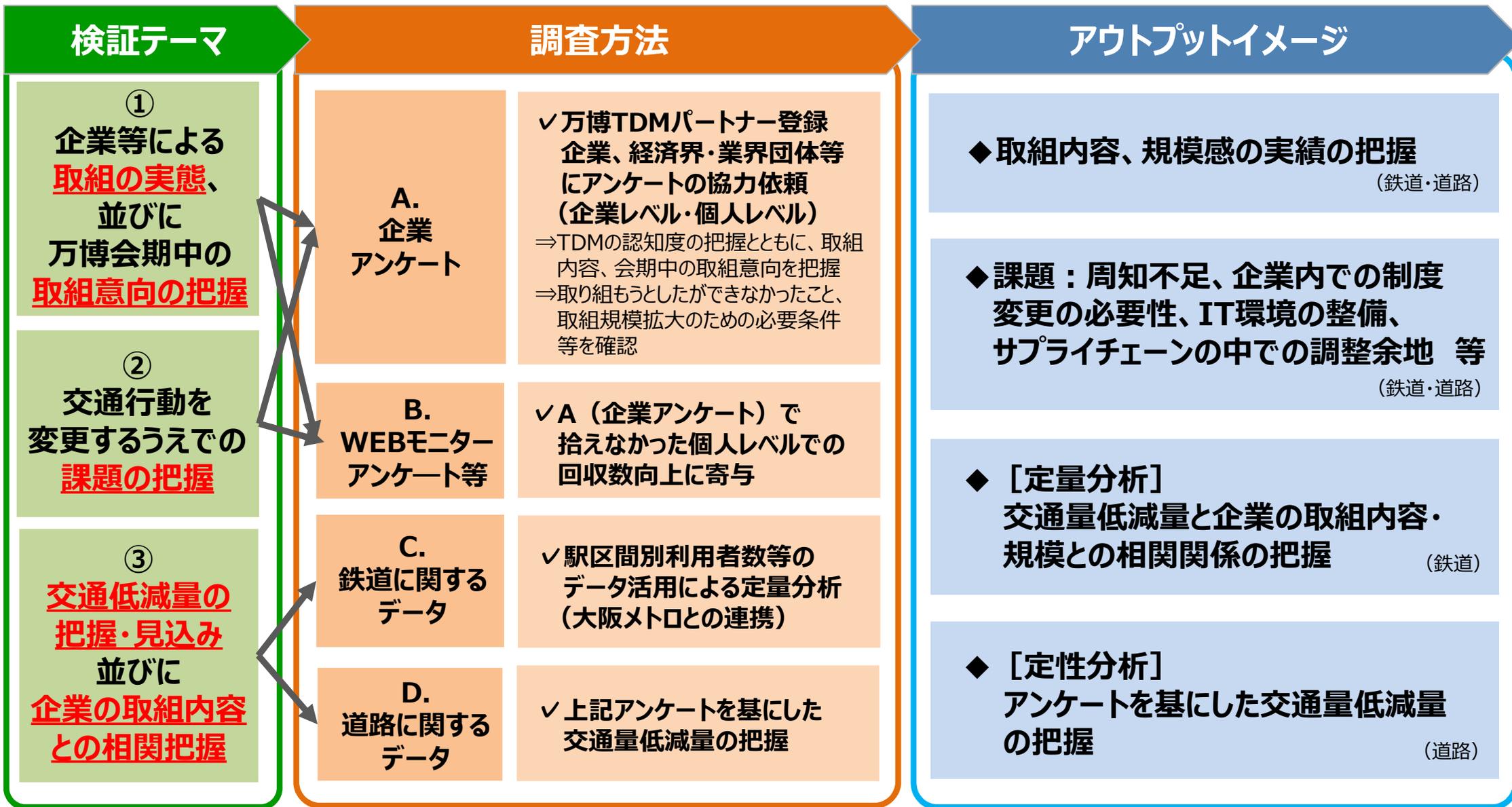
配送ルートの変更

- ・ 通勤経路の変更
- ・ 配送経路の変更
- ・ 影響の低いエリアにある倉庫の活用 等



迂回通勤 等

■ 検証テーマと検証方法



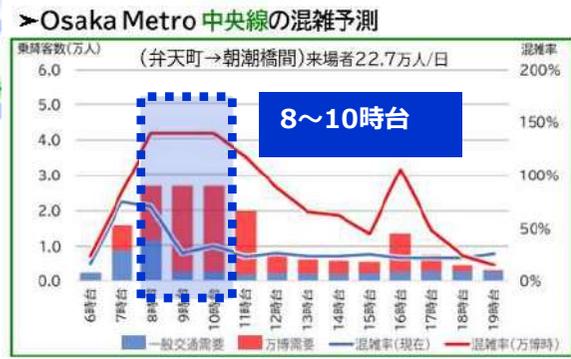
アンケート等を踏まえた万博会期中に向けての追加対策案について整理

■ 交通量低減量の検証【鉄道（大阪メトロ中央線）】

| | |
|---------|---|
| ■ 検証方法 | <p>▶ 大阪メトロ保有データを提供いただき、「<u>トライアル時</u>」と「<u>同曜日の通常時※</u>」を比較し、<u>変化交通量を把握</u></p> <p>※通常時として、<u>年変動や月変動の影響を受けないよう、トライアル前後の前週、翌週を採用</u></p> <p>※インテックス大阪イベント利用者は、ニュートラムの中埠頭駅、トレードセンター前駅、コスモスクエア駅の利用者数を通常時と比較し、算出。交通量変動要素から排除。</p> |
| ■ 検証箇所 | ▶ <u>大阪メトロ中央線（弁天町⇒コスモスクエア区間）</u> |
| ■ 検証時間 | ▶ <u>混雑対策が必要なピーク時間帯（8時台～10時台）とその前後1時間</u> を対象 |
| ■ 検証データ | ▶ <u>駅区間別利用者数、降車人数</u> 等 |
| ■ 検証内容 | <p>▶ TDMトライアルによる効果検証（影響把握）</p> <p>⇒ <u>在宅勤務や時差出勤等による利用者数の減少量</u>を把握</p> <p>⇒ <u>ピーク時間帯隣接の7、11時台への影響把握</u></p> |



○ : 調査対象区間



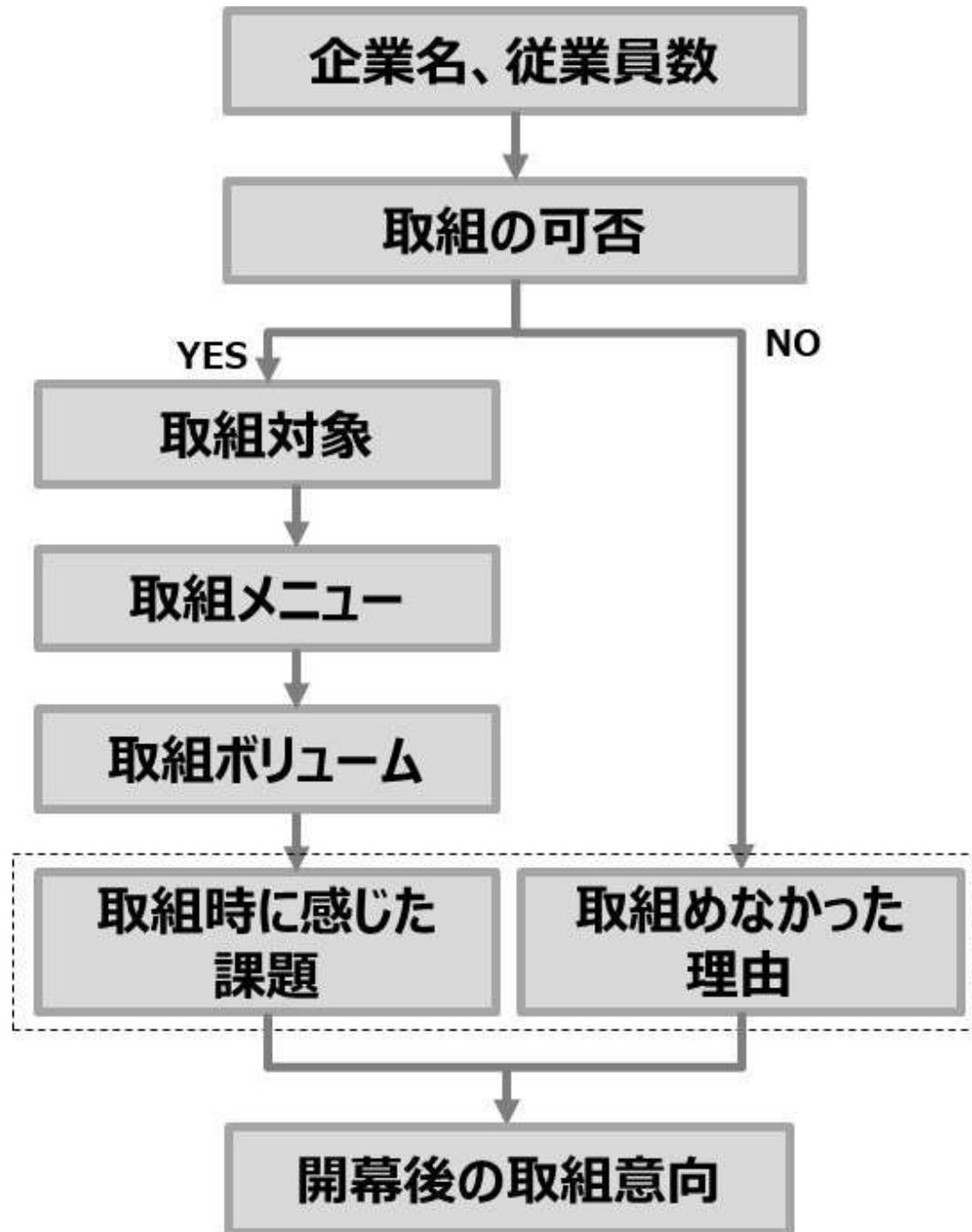
◇ アウトプットイメージ

【大阪メトロ中央線 各駅別改札口入場者数の変化】

| 駅区間 | 対前週比 (9/X) | | | | 対翌週比 (10/X) | | | |
|-------------|------------|-----------------|-----|-----|-------------|-----------------|-----|-----|
| | 7時 | ピーク時間帯 8-10時 | 11時 | 午前中 | 7時 | ピーク時間帯 8-10時 | 11時 | 午前中 |
| 弁天町-朝潮橋 | +○% | -△% | +△% | -△% | +○% | -△% | +△% | -△% |
| 朝潮橋-大阪港 | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ |
| 大阪港-コスモスクエア | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ |

- ✓ 日別の対前週比・翌週比の低減交通量の把握
- ✓ 各日間での低減交通量の比較
- ✓ アンケート結果とのクロス集計による交通低減量と取組内容の相関関係の整理

■ アンケートの実施



■万博TDMトライアル時のTDM推進団体等の取組

交通円滑化推進会議 構成団体においても、万博TDMトライアル期間中の取組を展開

①大阪府・大阪市

◆TDMトライアルにおいて、会期本番（最混雑期）を見据えた通勤削減に取り組む。

・R6.9.30～10.4（平日5日間）：

「咲洲庁舎・ATC庁舎部局に通勤する職員」について、時差出勤・在宅勤務等により、午前中の混雑時間帯（8時台～10時台）における通勤の7割削減を目指す。

※その他の部局についても一定の通勤削減を引き続き検討

②博覧会協会

◆万博開催期間中、夢洲会場に出勤する職員は2交代を想定（時差出勤）

・R6.9.30～10.4（平日5日間）：

職員について、時差出勤・在宅勤務等により、午前中の混雑時間帯（8時台～10時台）における通勤の7割削減を目指す

③経済団体、④国関係機関、⑤鉄道・バス・トラック事業者等
におかれても、TDM推進団体として取組を実施・周知していただきたい

■ 万博TDMトライアルに伴う広報

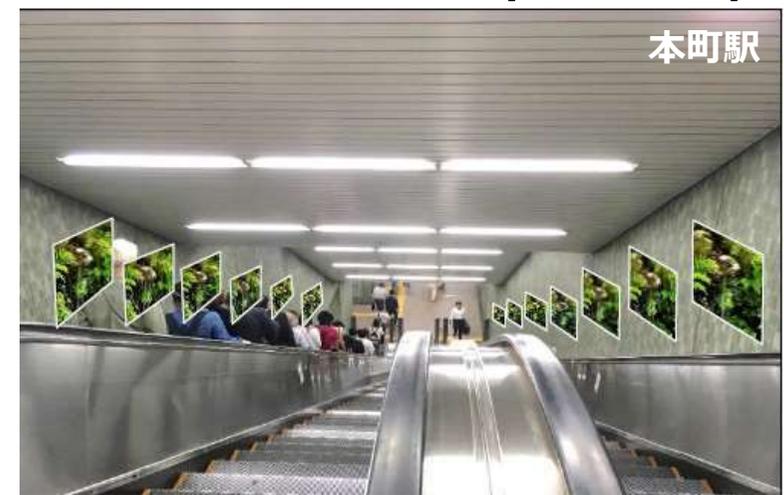
- ▶ TDMトライアルに特化した新たなポスター・チラシの作成
- ▶ 多くの企業の方にTDMトライアルを認知いただけるよう、鉄道事業者の所有媒体を中心に 広報掲載を調整

<例：中央線・御堂筋線等の主要駅>

【ドア横ポスター：B3（9/10～9/30）】



【臨時集中貼：B0（9/16～10/4）】



【改札内 掲載スペース：B0（9/9～10/4）】



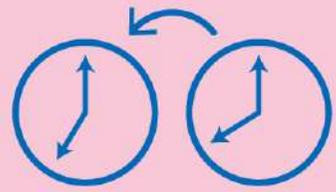
大阪・関西万博

TDMって何？

TDMとは、交通需要マネジメント (Transportation Demand Management) の略で鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・ルートの変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組をいいます。

大阪・関西万博期間中は、TDMの取組と合わせ、次の課題についても実施を予定しています

- ・乗換利用者の交錯対策(井天町駅や本町駅等)
- ・大型荷物の持込対策(自席呼びかけや一時預かり等)

| 1 | 在宅勤務 | 2 | 時差出勤 | 3 | ルート変更 |
|--|----------------|--|---------------|--|-------------------------|
|  | 出社を避け在宅で仕事をしよう |  | 混雑する時間帯を避けて通勤 |  | 鉄道や道路の混雑区間を避けて、スムーズな通勤を |



大阪・関西万博公式キャラクター
ミヤクミヤク

事前の回避手段を見つけておきませんか？

万博TDMパートナー登録企業募集中！

大阪・関西万博期間中の交通情報をメールマガジンなどでお届けします！

万博TDM

検索



※万博期間中の
ご利用のみに
ご活用ください



中央線・御堂筋線を
ご利用のみなさまへ

2025年の大阪・関西万博に向け

交通混雑回避のトライアルに ご協力をお願いします

TDMトライアル期間

2024 9.30 (月) ▶ 10.4 (金)

大阪・関西万博期間中の交通混雑回避のために万博TDMトライアルにご協力をお願いします。時間やルートをうまくズラしてスムーズな移動を目指しましょう。

大阪・関西万博期間中は
平日朝ピーク時(8時台~10時台)の
交通混雑が予測されます

なお、阪神高速道路池田線、東大阪線、ならびに万博会場周辺の一般道路についても、平日午前中を中心に交通混雑が予測されます



大阪・関西万博公式キャラクター
ミャクミャク

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

- 大阪府 ●大阪市
- 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
- 公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会
- 経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、関西鉄道協会、近畿バス団体協議会

©Expo 2025

交通円滑化・TDMの推進及び 「万博TDMパートナー」に関するお問い合わせ先

大阪府・大阪市万博推進局整備調整部
TEL: 06-6690-7731
受付時間: 月曜日から金曜日(祝日を除く)9:00から18:00

TDMトライアルについて 詳細を知りたい方はこちら



※携帯電話のご利用に際してはご協力ください



中央線・御堂筋線を
ご利用のみなさまへ

2025年の大阪・関西万博に向け

交通混雑回避のトライアルに ご協力をお願いします

2024
TDMトライアル期間 **9.30** (月) **10.4** (金)

大阪・関西万博期間中の交通混雑回避のために万博TDMトライアルにご協力をお願いします。時間やルートを変えてスムーズな移動を目指しましょう。

| | | |
|------------------|------------------|-------------------------|
| 1 在宅勤務 | 2 時差出勤 | 3 ルート変更 |
| | | |
| 出社を避けて在宅で仕事をしよう | 混雑する時間帯を避けて通勤 | 鉄道や道路の混雑区間を避けて、スムーズな通勤を |

TDMとは、交通需要マネジメント(Transportation Demand Management)の略で鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・ルートの変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組をいいます。

大阪・関西万博期間中は、TDMの取組と合わせ、次の課題についても実施を予定しています
・乗換利用者の交錯対策(弁天町駅や本町駅等)
・大型荷物の持込対策(自粛呼びかけや一時預かり等)

大阪・関西万博期間中は
平日朝ピーク時(8時台～10時台)の
交通混雑が予測されます

なお、阪神高速道路池田線、東大阪線、ならびに万博会場周辺の一般道路についても、平日午前中を中心に交通混雑が予測されます



事前の回避手段を見つけておきませんか?
万博TDMパートナー登録企業募集中!

大阪・関西万博期間中の交通情報をメールマガジンなどでお届けします!

万博TDM 検索



※案内の検索票をご利用ください

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

- 大阪府 ●大阪市 ●公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
- 公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会
- 経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、関西鉄道協会、近畿バス団体協議会

交通円滑化・TDMの推進及び「万博TDMパートナー」に関することのお問い合わせ先

大阪府・大阪市万博推進局整備調整部
TEL: 06-6690-7731
受付時間: 月曜日から金曜日(祝日を除く) 9:00から18:00

TDMトライアル期間中は、混雑を避けるためにルート変更をお願いします。

※案内の検索票をご利用ください

■ 今後の進め方

◆ 2024年8月26日（月）
@大阪市役所 特別会議室

◆ 2024年9月30日（月）
～10月4日（金）

◆ 2024年12月

◆ 2024年12月
※万博開幕100日前

■ 第3回交通円滑化推進会議
⇒ 万博TDMトライアル計画の公表

■ 万博TDMトライアル実施

■ 第4回交通円滑化推進会議
⇒ 万博TDMトライアル検証結果の総括
※検証結果速報は整理次第、随時公表
⇒ 府県市民への働きかけ方針に関する確認

■ 府県市民への働きかけを開始

2025年4月13日 万博開幕

2024年8月26日

第3回交通円滑化推進会議

企業の皆さまへ

万博TDMトライアル 計画概要

万博会期本番に向けた万博TDMトライアル実施に係る計画概要をまとめております。

万博TDMトライアルの実施に向けた参考資料として、ご活用いただければ幸いです。

| | |
|---|------------------|
| 1 万博TDMトライアル期間 | [補足資料①] |
| 2024年9月30日(月)～10月4日(金) [平日5日間] | |
| 2 実施目的 | [補足資料②] |
| <ul style="list-style-type: none"> ・TDM パートナー登録企業等による TDM トライアルへの参加、並びに課題の把握 ・TDM トライアル内容と低減交通量の相関関係の把握 (交通量低減における TDM の有意性確認) ・検証結果の公表による TDM 取組の重要性に関する企業の意識向上 | |
| 3 実施対象 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・交通円滑化推進会議構成団体 (大阪府市、博覧会協会、経済団体等) ・大阪市内の国等の行政関係機関 (約 40 機関・事業所) ・万博 TDM パートナー企業等 | |
| 4 実施エリア | [補足資料③] |
| <ul style="list-style-type: none"> ・重点エリア：万博会場周辺、Osaka Metro 中央線周辺 ・主要エリア：大阪市内等の主要ターミナル周辺の駅シャトルバス発着地 | |
| 5 実施内容 | [補足資料④、⑤] |
| <ul style="list-style-type: none"> ・時差出勤、在宅勤務・テレワーク、迂回出勤、休暇取得等 | |
| 6 実施目標 | [補足資料⑥] |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府市： <ul style="list-style-type: none"> ・ 咲洲庁舎、ATC 庁舎部局において、7 割の職員の在宅勤務や時差出勤等の取組みを目指す。また、その他部局についても、一定の通勤削減に向けた取組みを検討 ・博覧会協会：時差出勤等の取組みを 7 割以上の職員が実施 ・企業・大阪市内の国の出先機関：TDM の取組みを可能な範囲で実施 | |
| 7 効果検証 | [補足資料⑦] |
| <ul style="list-style-type: none"> ・Osaka Metro 中央線の利用者数 ・府市協会、国等の出先機関、TDM パートナー企業等の取組み状況 | |
| 8 トライアル後の動き | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・2024.12 トライアルの結果公表 ・*検証結果速報は、整理次第、随時公表。 | |
| 9 その他 | [補足資料⑧] |
| <ul style="list-style-type: none"> ・万博 TDM パートナー企業募集について ・万博 TDM トライアル参加に伴うインセンティブについて ・関連する行政 HP | |

1 万博TDMトライアル期間

- ▶ 万博会期中の来場者の安全・円滑な輸送に万全を期すため、トライアル期間を設定。
- ▶ 大阪・関西万博会期中において、最も来場者が集中すると予測される会期末に相当する期間の1年前をトライアル期間と設定。

《2024 年度カレンダー》

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------------------------|----|------|----|----|----|----|
| 9/22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 10/1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| TDMトライアル期間 (9/30~10/4) | | | | | | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |

※インテックス大阪でのイベント状況を加味して、9/30-10/4 をトライアル期間として設定

《（参考）2025 年カレンダー（万博開催年度）》

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------------------------|-----------|----|------|----|----|----|
| 9/21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 万博最混雑期 (会期末10/1~13) | | | | | | |
| 28 | 29 | 30 | 10/1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 閉幕日 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |

《図-1：2024・2025 年度カレンダー》

2 実施目的

大阪・関西万博は、アクセスルートが限られた人工島での開催となるため、万博来場者を安全・円滑に輸送するためには、アクセスが特定の交通手段や経路に集中しないバランスの取れた輸送計画を立案することが必要であり、その計画を着実に実行するために十分な準備が必要となる。

そこで、万博来場者への対策として、

- ① チケットコントロールなどによる需要平準化策や
 - ② Osaka Metro 中央線の運行本数増便や会場周辺の道路整備などの供給拡大策
- 等の来場者輸送対策を実施している。

しかしながら、混雑が予想される特定の時間帯などにおいては、これらの来場者輸送対策を実施してもなお、交通における課題が解消されないことから、一般交通の抑制、分散、平準化を目的としたTDMの実施への協力をお願いするものである。

今回、最も混雑が想定される会期終盤の1年前にあたる9月30日（月）から10月4日（金）にかけてTDMのトライアルを実施し、企業の皆さまに参加いただくことで、取組む上での課題の把握、ならびに得られた課題を企業内で議論いただき、会期本番につなげていくことで、より実効性のあるTDMの実施を目指すものである。

* 交通需要マネジメント（Transportation Demand Management）の略称で、鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・経路の変更等の交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など。交通需要の調整を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組

4 実施エリア

- ▶効果的なTDMとなるよう、実施エリアにもメリハリをつけて戦略的に実施。
- ▶来場者等により、人流・物流が集中し、混雑が予想される下記を対象にエリアを設定。

「重点エリア」

- ▶万博会場のある夢洲、その周辺の咲洲、舞洲、桜島等
- ▶万博来場者の集中が予測されるOsaka Metro中央線周辺

「主要エリア」

- ▶万博会場へ向けて運行される駅シャトルバスのターミナル駅周辺

なお、実施エリアについては、上記「重点エリア」、「主要エリア」に位置する企業を中心に呼びかけを行うが、当該エリア以外の企業の皆さまにおかれても商談や打合せで、万博会場周辺の道路や、Osaka Metro中央線の利用が想定されるため、重点エリア・主要エリアを含む大阪府域の企業を対象に幅広くトライアルへの協力を依頼していくとともに、各種媒体を利用して周知を行う。

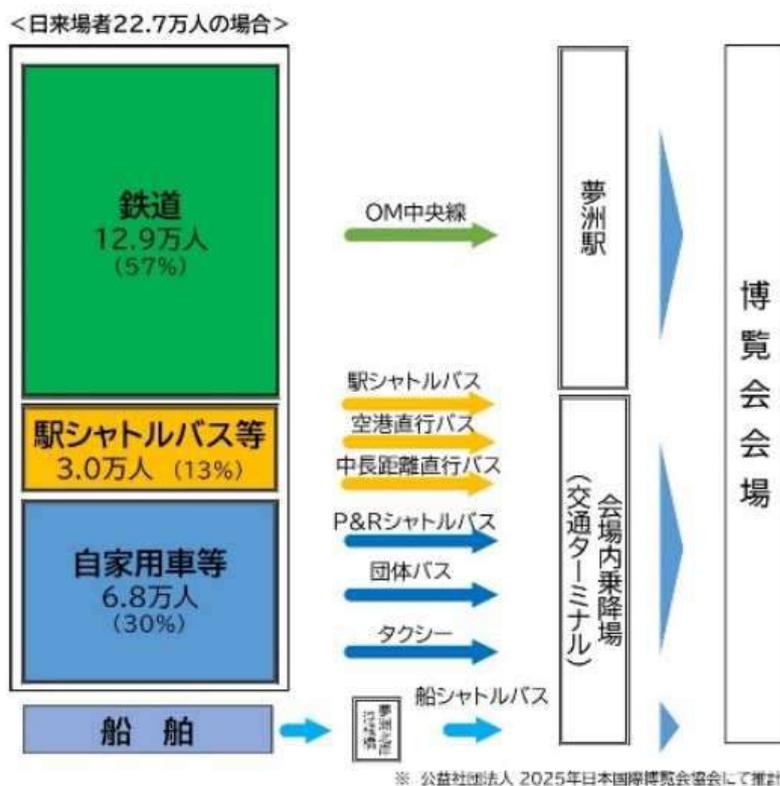


《図-2：重点エリア・主要エリア図》

5 実施内容《想定される主な混雑》

■万博には多くの人の来場が予測される。

1日來場者数は、非常に混雑する時期（会期終盤）には、約22.7万人^{*1}を想定している。
 （鉄道を利用される方が約12.9万人^{*2}、道路を利用される方が約9.8万人^{*3}を想定）
 これに伴い、会場周辺や大阪市内等の主要駅周辺へ、人流及び物流の集中が想定される。



《図-3：交通機関分担率》

- *1：日來場者数の上位1割平均、
- *2：Osaka Metro 中央線を利用する來場者数
- *3：駅シャトルバス等、自家用車等を利用する來場者数

■ 来場者輸送対策を実施しても混雑の発生が予測される。

会期終盤の最混雑期には、来場者輸送対策を実施したとしても、一部の鉄道や道路で来場者による万博交通と通勤や物流等の一般交通が集中し、主に下記にて混雑の発生が予測される。

<鉄道・来場方向>

[Osaka Metro 中央線]

- ・ 弁天町～コスモスクエア間で
平日朝ピーク時（8時台～10時台）
に混雑
- ・ 混雑率（弁天町→朝潮橋間）
約70%⇒約140%（2倍）

[Osaka Metro 御堂筋線]

- ・ 梅田～本町間で
平日朝ピーク時（8時台～10時台）
に混雑
- ・ 混雑率（梅田→淀屋橋間）
約140%⇒約160%



≪図-4 鉄道混雑予測区間≫

<道路・来場方向>

[阪神高速道路]

阪神高速道路池田線、東大阪線は、平日午前を中心に交通量が増加し、現在より渋滞の増加が予測される。

○阪神高速 東大阪線

- ・ 平日朝ピーク時（7時台～10時台）
において、渋滞が約2km延長

○阪神高速 池田線

- ・ 平日朝ピーク時（7時台～9時台）
において、渋滞が約0.3km延長



≪図-5 道路混雑予測区間≫

[一般道路（万博会場周辺道路）]

湾岸舞洲出口から会場までの一般道路は、平日午前を中心に駅シャトルバス等や自家用車等が増加する。

5 実施内容《企業の皆さまに実施いただきたい行動（具体例）》

企業の皆さまには、

- ・万博交通の集中が予測される Osaka Metro 中央線、御堂筋線の平日朝ピーク時（8時台～10時台）の利用を回避するため
- ・万博交通の集中が予測される 平日午前における万博会場周辺等の一般道路、阪神高速道路の利用を回避するため、の取組にご協力いただきたい。



《図-6 中央線混雑予測》

【主な取組例】

1. 移動量・配送量を削減する取組

【在宅勤務・テレワーク（鉄道・道路共）】

ex) 午前中の在宅勤務・テレワークの実施

【トライアル期間に合わせた計画的な休暇取得（鉄道・道路共）】

ex) 午前中の休暇の取得実施

【オンライン会議の推進（鉄道・道路共）】

ex) 午前中に予定される会議をオンラインにて実施

2. 混雑時期・時間帯を回避する取組

【時差出勤（鉄道・道路共）】

ex) 午前7時始業、午前7時30分始業、午前8時始業

* 通常より早く出勤されるため、長時間労働にならないようにご注意ください。

【商談・打合せ時間の調整（鉄道・道路共）】

ex) 混雑時間帯を避けた時間帯での打合せの実施

3. 混雑場所・ルートを回避する取組

【迂回通勤（鉄道）】

Osaka Metro中央線（弁天町～コスモスクエア）、御堂筋線（梅田～本町間）を迂回する通勤の実施

* 大阪メトロは乗降駅が同じ場合運賃は同じ



《図-7 中央線混雑予測》

※上記は、主な取組であり、上記以外にTDMとして、効果的な取組がある場合は、積極的に実施いただきたい。

6 実施目標

- ▶大阪府・大阪市職員、博覧会協会、ならびに、TDM 推進団体等（大阪市域の国の出先機関、経済団体、鉄道・バス・トラック事業者）において、万博 TDM トライアル期間中の取組みを展開する。

大阪府・大阪市

会期中の最混雑期（会期終盤）を見据えた通勤削減に取り組むべく、重点エリアに位置する咲洲庁舎・ATC 庁舎部局に通勤する職員について、時差出勤・在宅勤務等により、午前中の混雑時間帯（8 時台～10 時台）における通勤の7割削減を目指す。

また、咲洲庁舎、ATC 庁舎部局以外の部局についても、一定の通勤削減に向けた取組みを検討する予定である。

博覧会協会

大阪府・大阪市と同様に、咲洲庁舎・ATC 庁舎に通勤する博覧会協会についても、時差出勤・在宅勤務等により、午前中の混雑時間帯（8 時台～10 時台）における通勤の7割削減を目指す予定である。

TDM 推進団体等（大阪市域の国の機関、経済団体、鉄道・バス・トラック事業者）可能な限りの取組みを実施いただく予定である。



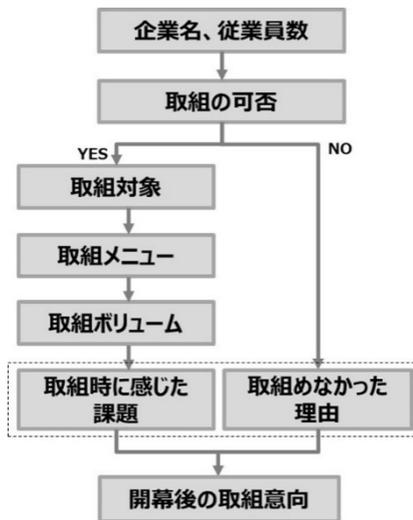
企業の皆さま

- ▶TDM の取組にご協力いただける企業の皆さまには、「補足資料⑤」に記載される主な取組例を参考に、社内で議論いただき、実施可能な取組について実践いただきたい。
取組みはあくまで企業として可能な範囲で実施するものとし、目標値を求めることはない。

7 効果検証

《アンケートによる取組状況等の把握》

万博TDMトライアル実施後には、企業等による取組みの事態を把握すべく、府市協会、国等の出先機関、TDMパートナー企業等に対し、アンケートを実施予定である。



取組の可否にはじまり、取組対象、取組メニュー、取組規模、取組時に感じた課題、取り組めなかったと回答された場合の理由など、網羅的に把握できるよう、かつ回答いただく方々に負担感のないよう、基本的には選択式にする形で、実施予定である。

《図-8 アンケートフロー (TDM パートナー登録企業) 》

《Osaka Metro 中央線における交通量低減量の検証》

TDMの有意性を確認すべく、これらの取組みの交通量低減への影響について、Osaka Metro 中央線 (弁天町～コスモスクエア) をターゲットに利用者数等の変動を確認することで検証を行う。また取組内容との相関関係についても言及する。

| | |
|---------|---|
| ■ 検証方法 | <p>▶ 大阪メトロ保有データを提供いただき、「トライアル時」と「同曜日の通常時※」を比較し、変化交通量を把握</p> <p>※通常時として、年変動や月変動の影響を受けないよう、トライアル前後の前週、翌週を採用</p> <p>※インテックス大阪イベント利用者は、ニュートラムの中埠頭駅、トレードセンター前駅、コスモスクエア駅の利用者数を通常時と比較し、算出。交通量変動要素から排除。</p> |
| ■ 検証箇所 | ▶ 大阪メトロ中央線 (弁天町⇒コスモスクエア区間) |
| ■ 検証時間 | ▶ 混雑対策が必要なピーク時間帯 (8時台～10時台) とその前後1時間 を対象 |
| ■ 検証データ | ▶ 駅区間別利用者数、降車人数 等 |
| ■ 検証内容 | <p>▶ TDMトライアルによる効果検証 (影響把握)</p> <p>⇒ 在宅勤務や時差出勤等による利用者数の減少量を把握</p> <p>⇒ ピーク時間帯隣接の7、11時台への影響把握</p> |



《図-9 検証対象区間》

《表-1 検証の考え方》

9 その他①（万博 TDM パートナー企業登録）

- ▶2023年12月27日に開催した第2回会議での方針を受け、2024年2月20日より、「TDMパートナー登録企業募集」を開始。
- ▶具体的には、WEB上で登録いただいた万博TDMパートナー企業さまには、企業さまへのヒアリング等でもよく聞かれた万博開催時の交通混雑情報や他の企業取り組みなどをメールマガジン形式のプッシュ型で配信するもの。
- ▶また、登録証の発行、事務局HPでの企業名・企業HPのURLの公表などを行うことで、TDMに取り組む企業の拡大、取組意欲の向上につなげていく。
- ▶まずは、直接、交通情報をお伝えし、理解を深めていただくとともに会期本番、トライアル含めTDM実施に向けた検討含め、企業活動に役立てていただくことが重要と考えており、是非とも、万博TDMパートナーへの登録にご協力いただきたい。



<図-10 万博 TDM パートナー登録企業募集チラシ（表面・裏面）>

* 万博 TDM パートナー登録 専用ホームページ

大阪市:万博 TDM パートナー登録制度 専用ホームページ (…>2025 年日本国際博覧会の開催> 大阪・関西万博開催における取組み) (osaka.lg.jp)

9 その他②（万博 TDM トライアル実施に伴うインセンティブ）

- ▶ 万博 TDM パートナー登録に伴う登録証に加え、万博 TDM トライアルに関しても、ご協力いただいた企業の皆さまには下記のとおり、参加証の発行を予定している。



<図-11 万博 TDM トライアル参加証（イメージ）>

- ▶ くわえて、良いトライアルの取組をした企業については事例をHP上で公表することを予定しており、パートナー登録や万博 TDM トライアルの参加の促進につなげてまいりたい。

9 その他③（関連する行政 HP）

- ▶ 万博 TDM パートナー登録企業募集 専用ホームページ
[大阪市：万博 TDM パートナー登録制度 専用ホームページ（…>2025 年日本国際博覧会の開催>大阪・関西万博開催における取組み）（osaka.lg.jp）](#)
- ▶ 交通円滑化推進会議
[大阪市：2025 年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（…>2025 年日本国際博覧会の開催>大阪・関西万博開催における取組み）（osaka.lg.jp）](#)

大阪・関西万博

働きかけ TDM の進め方

2024 年 8 月

2025 年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

-目次-

| | | |
|----|-----------------------|----|
| 1. | 目的..... | 2 |
| 2. | TDMの必要性と目標 | 5 |
| 1) | 必要性..... | 5 |
| 2) | 目標..... | 6 |
| 3. | 推進体制 | 8 |
| 4. | TDMの取組方針..... | 9 |
| 1) | エリアや期間によるメリハリ付け | 9 |
| 2) | TDM取組メニュー | 11 |
| 3) | 働きかけの対象業種と取組メニュー..... | 14 |
| 5. | 働きかけの推進 | 17 |
| 1) | 企業への働きかけ..... | 17 |
| 2) | 府県市民等への働きかけ..... | 21 |
| 6. | TDMトライアルの実施..... | 22 |
| 7. | 万博開催期間中の TDM 実施 | 23 |

1. 目的

- 円滑な来場者輸送と都市活動の両立
- 交通の円滑化につながる行動変容の取り組み

- 2025日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）は、2025年4月13日から同年10月13日までの184日間、大阪市内の臨海部の海に囲まれた人工島の「夢洲」で開催されます。
- 大阪・関西万博では、1日あたり約22.7万人^{注1}、会期中約2,820万人の来場者が想定されています。
- 万博会場への主要なアクセスルートは、「①Osaka Metro 中央線（鉄道）」「②JR 桜島線（鉄道+駅シャトルバス）」「③淀川左岸線（2期）（新大阪駅、大阪駅等発の駅シャトルバス）」の3つのルートがあります。

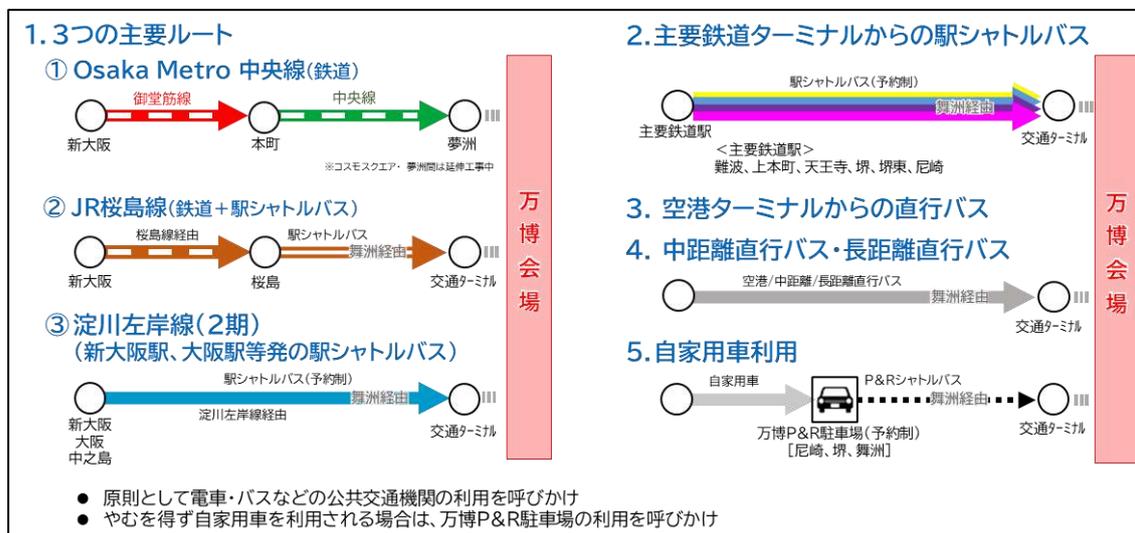


図1 会場アクセス概要

- 万博会期中における会場が混雑する期間として、修学旅行シーズンの6月や駆け込み需要のある8月のお盆以降などが想定されています。
- 特に、会期終盤の10月の約2週間は、非常に混雑すると想定されています。

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 計 上段:日数 下段:割合 |
|--|-----------------|----|----|----|-----------|----|----------------------|---------------------|
| | ●開幕(4/13) GW | | | | 夏休み お盆 | | ●敬老の日 ●秋分の日 | |
| 会場混雑 | | | | | | | | |
| 非常に混雑 約20万人/日以上 | | | | | | | | 8日 (7%) |
| 混雑 約14万人/日以上 | | | | | | | | 51日 (44%) |
| やや混雑 約14万人/日未満 | | ※1 | | ※2 | | | | 56日 (49%) |
| ※ 土日祝及びゴールデンウィークとお盆期間に相当する日数を除いた平日のみで整理 | | | | | | | 合計 上段:日数 下段:割合 | 115日 (100%) |
| <p><予測の考え方></p> <p>※1(開幕~5月) 会期前半は過去の万博傾向から、来場者が多くないと想定</p> <p>※2(7月~お盆) 修学旅行の需要が一段落し、暑い時期ということもあり、一般の来場者需要も減少すると想定</p> <p>[2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会における「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版(2023年11月)」の内容を踏まえ作成]</p> | | | | | | | | |

図2 万博会期中の会場での混雑予測

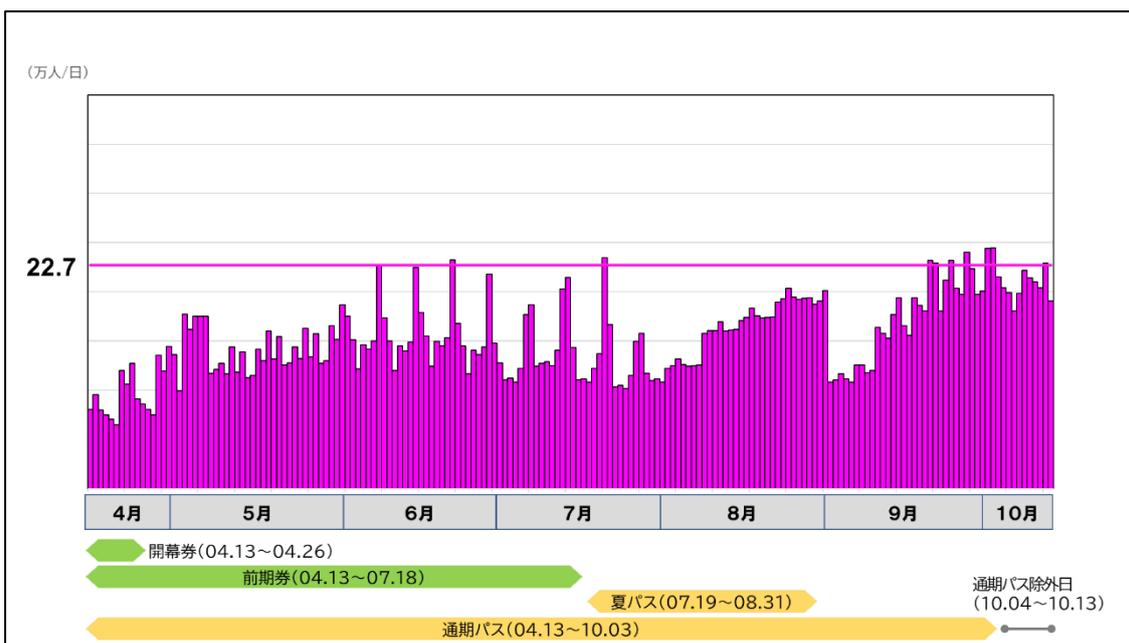


図3 日来場者数の予測(チケットコントロールによる平準化後)

- 交通の円滑化を図るため、在宅勤務や時差出勤、混雑予測箇所の迂回など、住民や企業等の交通にあたっての行動変容を促す取り組みであるTDM^{注2}について、広く協力を働きかけ、円滑な
- 来場者輸送と都市活動の両立を目指します。

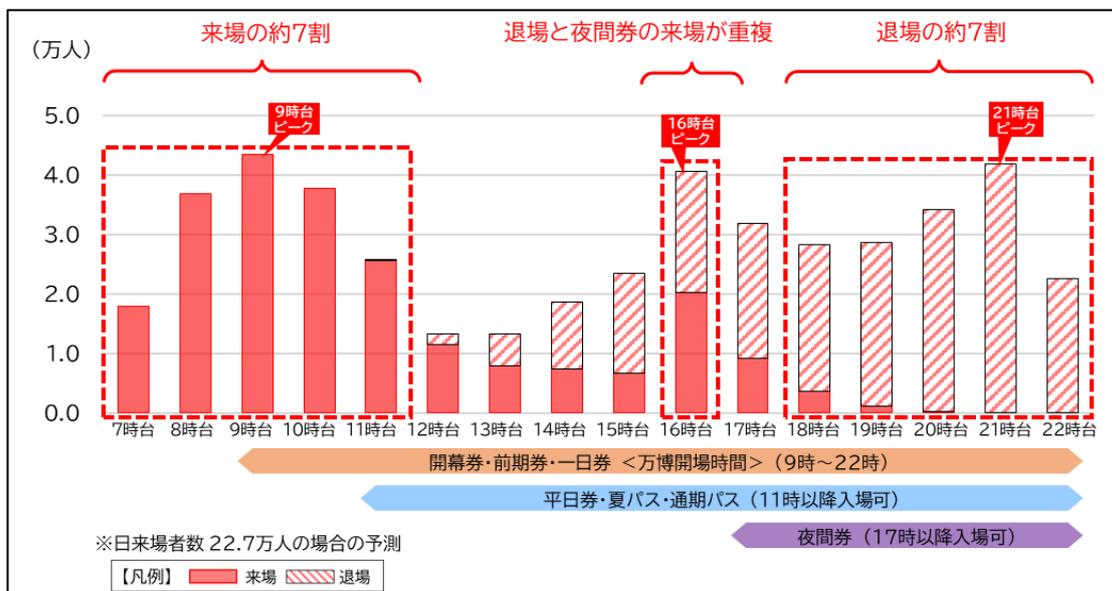


図4 1日の時間帯別の来退場の予測 (22.7万人/日)

注1 日來場者数の上位1割平均

注2 TDM (Transportation Demand Management : 交通需要マネジメント)

鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・経路の変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組

2. TDMの必要性と目標

1) 必要性

- 交通混雑の取組を実施しない場合、一部の鉄道や道路で混雑が発生

ア) 鉄道

- Osaka Metro 中央線の混雑が約 2 倍に増加 等
 - ・ 平日 8 時から 10 時台に弁天町から朝潮橋間での混雑率
〔(現在) 約 70% → (取組なし) 約 140%〕

イ) 道路

- 阪神高速 13 号東大阪線で約 2 k m、11 号池田線で約 0.3 k m 渋滞長が延伸する見込み 等
〔東大阪線 (現在) 5 k m → (取組なし) 7 k m〕
- これらの混雑が、来場者輸送はもとより、企業活動等へも影響を与えることから、TDMの取り組みが必要

- 鉄道の増便や、道路の交通容量拡大等の来場者輸送での対策を実施しても、TDMの取り組みを行わなければ、鉄道の混雑や、阪神高速の交通状況の悪化等、混雑の発生が想定されています。

2) 目標

ア) 鉄道

- Osaka Metro 中央線で混雑率約 120%を目指す

イ) 道路

- 阪神高速道路で渋滞長が通常時の最大を超えないことを目指す

- 円滑な来場者輸送と都市活動を両立させるため、主に以下の取組を行います。

ア) 鉄道

- 来場者が集中する日などにおいて、万博交通の集中が想定される Osaka Metro 中央線と御堂筋線の利用者へ、時差出勤や在宅勤務など、混雑区間の移動量や混雑時間帯の回避を働きかけることで、混雑の緩和を図ります。
- また、比較的混雑が少ない四つ橋線や堺筋線、谷町線等の並行路線及び住之江公園経由でのニュートラム利用を促すことで、混雑区間を避けたルート変更を働きかけます。

イ) 道路

- 阪神高速 11 号池田線や 13 号東大阪線等から、近畿自動車道や阪神高速 6 号大和川線等の別路線の利用を促すことで、混雑区間を避けたルート変更を働きかけます。

- 以上の取り組みにより、鉄道では、万博会場に直接乗り入れる唯一の路線となる Osaka Metro 中央線において、より快適に移動可能となるよう、混雑率約 120%の達成を目指します。
- また、道路では、阪神高速道路における渋滞長について、万博交通によりさらに伸びることがないことを目指します。

[2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会における「大阪・関西万博来場者輸送対策協議会（アクションプラン）第4版」（2024年7月）より]

3. 推進体制

- TDMの推進には、住民や企業等のご理解・ご協力に基づく、自主的な参加を促すための合意形成が必要
- 住民や企業等の交通にあたっての行動変容を促す取り組みを関係者が一体となって検討・調整し、広く協力を働きかけ

- 2022年12月に、「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（以下「TDM推進会議」といいます。）」を設置しました。
- TDM推進会議は、会長に大阪府知事、会長代行に大阪市長、副会長に2025年日本国際博覧会協会事務総長、委員に経済3団体の代表、協力委員に国関係機関の局長や鉄道及びバス協会の会長で構成しています。
- TDM推進のための体制は、働きかける側のみでなく、住民や企業等、働きかけられる側のご理解・ご協力に基づく、自主的な参画が必要となります。
- TDM推進会議において、交通にあたっての行動変容を促す取り組みを検討・調整し、住民や企業等へ広く協力の働きかけを行い、合意形成を経て、TDMを推進する体制を構築します。

4. TDMの取組方針

1) エリアや期間によるメリハリ付け

- 来場者等により、人流・物流が集中し、混雑が予想される会場周辺、駅シャトルバス発着地周辺地域等のエリアについて、重点エリア・主要エリアと位置づけ、メリハリを付けた取組を実施
- 重点エリア・主要エリア等のエリアの特性に応じた、ご協力の呼びかけを実施

- 来場者等により、人流・物流が集中し、混雑が予想される会場周辺、駅シャトルバス発着地周辺地域の企業等について、TDMを取り組んでもらうことにより、大きな効果があると想定しています。
- これら地域の関係機関・企業等に対し、重点的にTDM実施への協力を求める等、地域ごとに取組のメリハリを付けた取組を実施実施します。
- 会場周辺や Osaka Metro 中央線の沿線を「重点エリア」、また、駅シャトルバスが発着する主要駅周辺を「主要エリア」と位置づけます。
- また、その他のエリアも含めて、各エリアの特性に応じた呼びかけや取り組みの内容、実施期間にメリハリを付け、企業等へご協力の働きかけを実施します。



図5 重点エリア・主要エリア箇所図

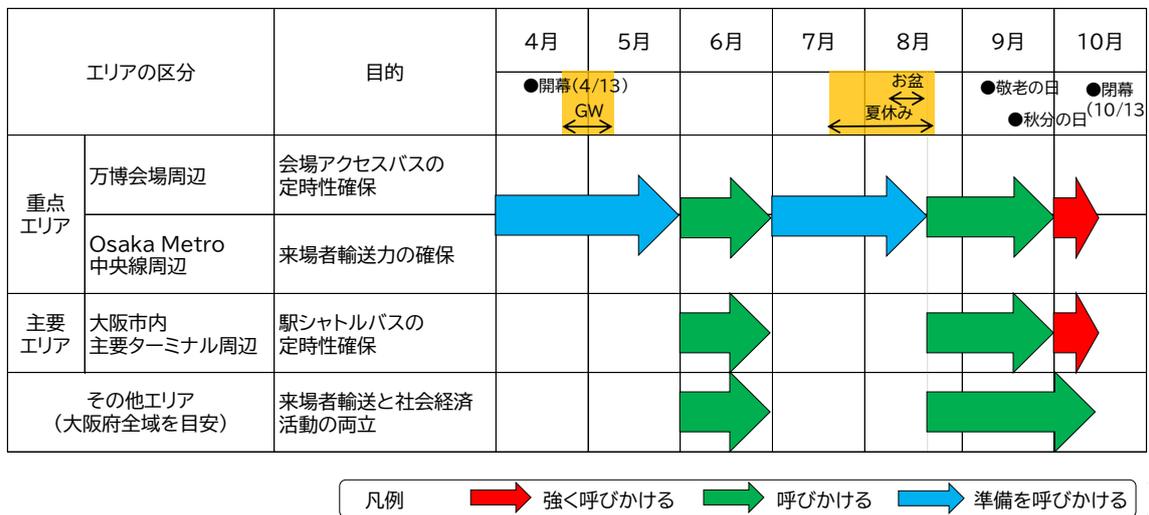


図6 エリアの特性に応じた協力の働きかけ

2) TDM取組メニュー

- 交通混雑を緩和する取り組みを企業等へ働きかけ
- 具体施策については、少しでも多くの企業等に取り組んでいた
だけよう、働きかけを実施

- 来場者が集中する日などにおいて、交通混雑を緩和する取り組み
について、企業等へ協力を働きかけます。

ア) 移動量・配送量を削減する取組

- ・ 万博会場が混雑する期間において、会場周辺の企業等に、在
宅勤務やまとめて納品等にご協力いただき、移動量や配送量
を削減することで、混雑の緩和を目指します。

イ) 混雑時期・時間帯を回避する取組

- ・ 万博会場が混雑する時期や来退場のピーク時間帯について、
時差出勤や納品時期の変更等にご協力いただき、これらの時
期・時間帯を回避することで、混雑の緩和を目指します。

ウ) 混雑場所・ルートを回避する取組

- ・ Osaka Metro 中央線や阪神高速道路等の混雑区間について、
迂回通勤や配送ルートの変更等にご協力いただき、これらの
混雑区間を回避することで、混雑の緩和を目指します。

表1 主なTDMメニュー

| 取組効果 | 主な取組メニュー |
|-------------|--------------------|
| 移動量・配送量を削減 | テレワーク・在宅勤務 |
| | オンライン会議の推進 |
| | まとめて納品 |
| | 共同配送 |
| | イベント開催場所・時期の変更 |
| 混雑時期・時間帯を回避 | 時差出勤、フレックスタイム |
| | 商談・打合せ時間の調整 |
| | リードタイム（納品時期・時間）の変更 |
| | 配送時間の変更 |
| 混雑場所・ルートを回避 | 通勤経路の変更（混雑区間を迂回） |
| | 配送経路の変更 |
| | 影響の低いエリアにある倉庫の活用 |

- 具体施策については、企業に検討いただくに際して、少しでも多くの企業に、TDMの実施に協力いただけるよう、働きかけを行います。

ア) 物流にかかる取組

- 共同・混載配送や納品時期の調整など配送方法の効率化やオフピーク時へのシフト等の取組については、企業間の連携が必要であることから、TDMの実施に協力いただけるよう、働きかけを行います。

イ) 路上工事の抑制

- 来場者を輸送または利用を推奨する路線や、TDMで迂回誘導を呼びかける路線で工事規制を伴う路上工事やその路線で工事車両が通行する見込みがある工事などについては、工事調整をしていただく必要があります。

- 万博期間中のシャトルバス運行ルートにおける路上工事縮減に向け、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会・バス事業者の連名で、大阪府内の道路管理者や占用企業者等で構成されている会議体に要望しました。

ウ)会場周辺イベントとの調整

- 万博会場周辺の咲洲や舞洲、天保山、桜島周辺では、万博会期中に各種イベントの開催が計画、検討されています。
- これらの周辺イベントと万博が共存できる方法について、万博交通による交通混雑情報を示しながら、周辺イベントの来場ルート変更などの対応について、調整を行います。

3) 働きかけの対象業種と取組メニュー

- TDMの取組については、企業の業種ごとに協力頂ける取組メニューが異なることから、産業分類に応じた働きかけ対象メニューを整理
- これらのメニューを踏まえ、企業への働きかけを実施

- TDMの取組については、企業の業種ごとに協力頂ける取組メニューが異なることが考えられます。
- そこで、大阪市の産業統計情報を踏まえ、大阪市域全体や夢洲・舞洲などの臨海部の4区、特に来場者の利用が想定されるOsaka Metro 中央線沿線を分析した結果、各エリアで、産業別の事業所数分布を整理しました。
- また、取組メニューは、業種ごとに、実施に協力いただけるメニューに違いがあることから、個別にヒアリング等を実施し、その結果、業種ごとに協力いただける見込みがある取組を整理しました。
- 各取組メニューと業種の関係整理図を踏まえ、継続して企業への働きかけを行います。

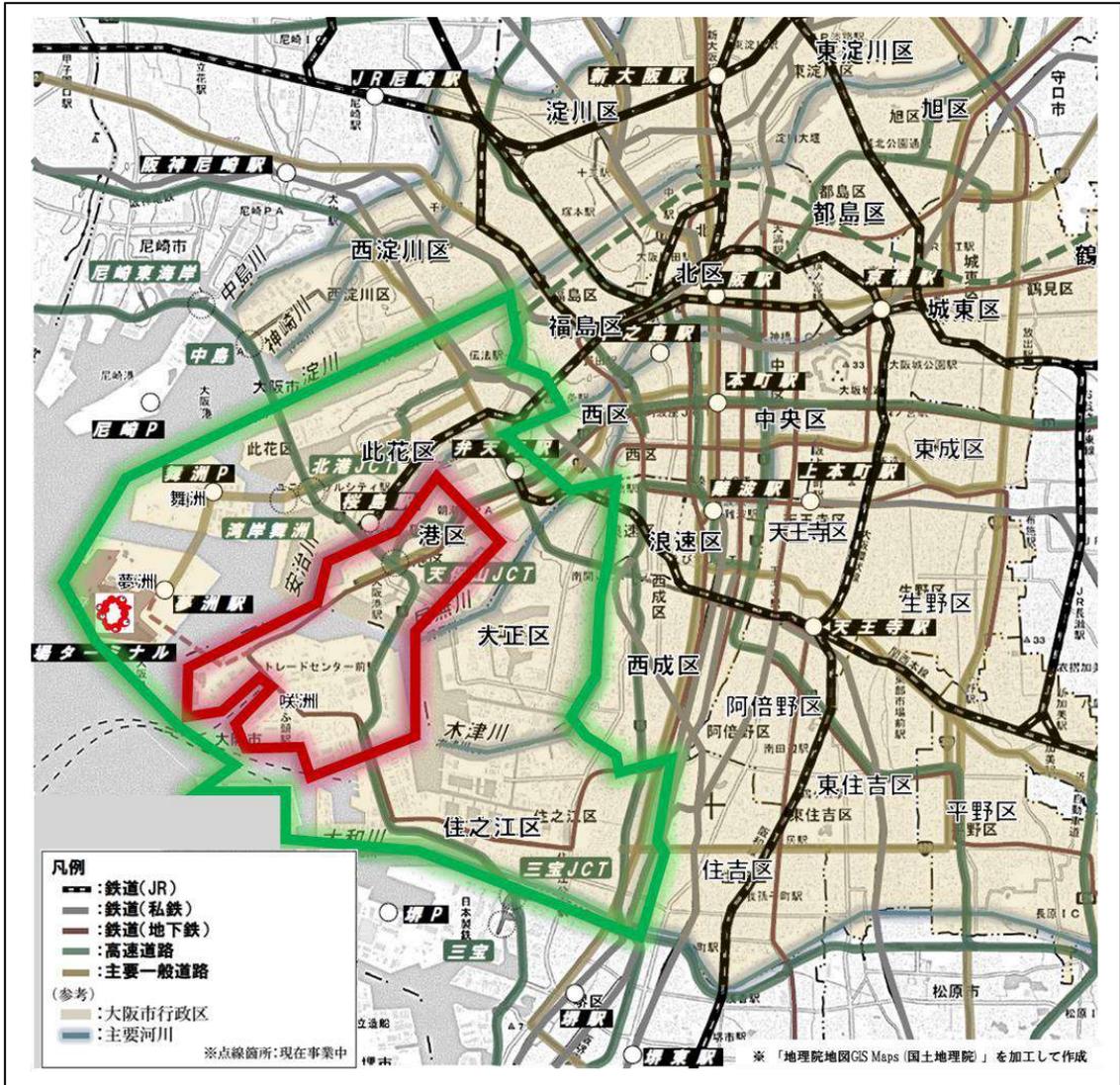
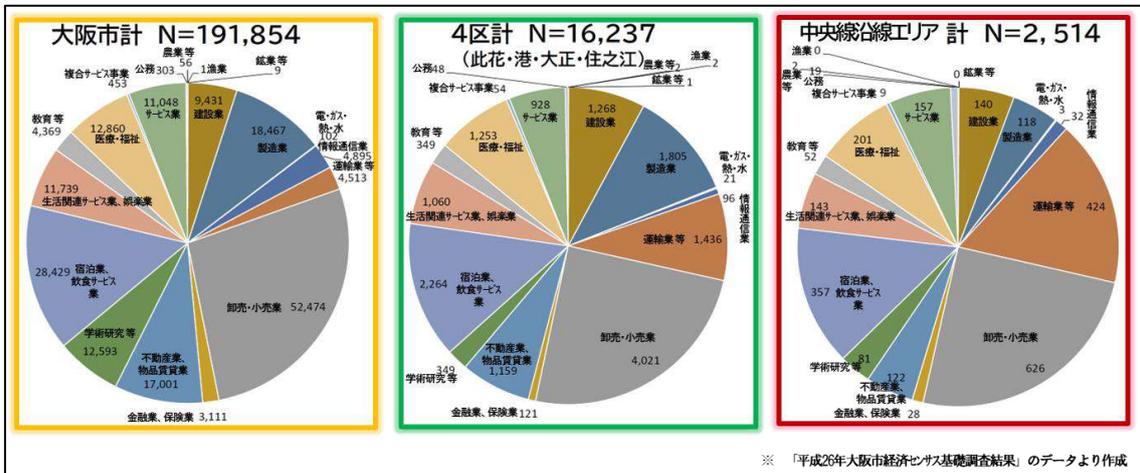


図7 産業別事業所数の分析に伴う区域図

表2 区域ごと産業別事業所数



※ 「平成26年大阪市経済セサ基礎調査結果」のデータより作成

TDM各施策と業種の関係整理図

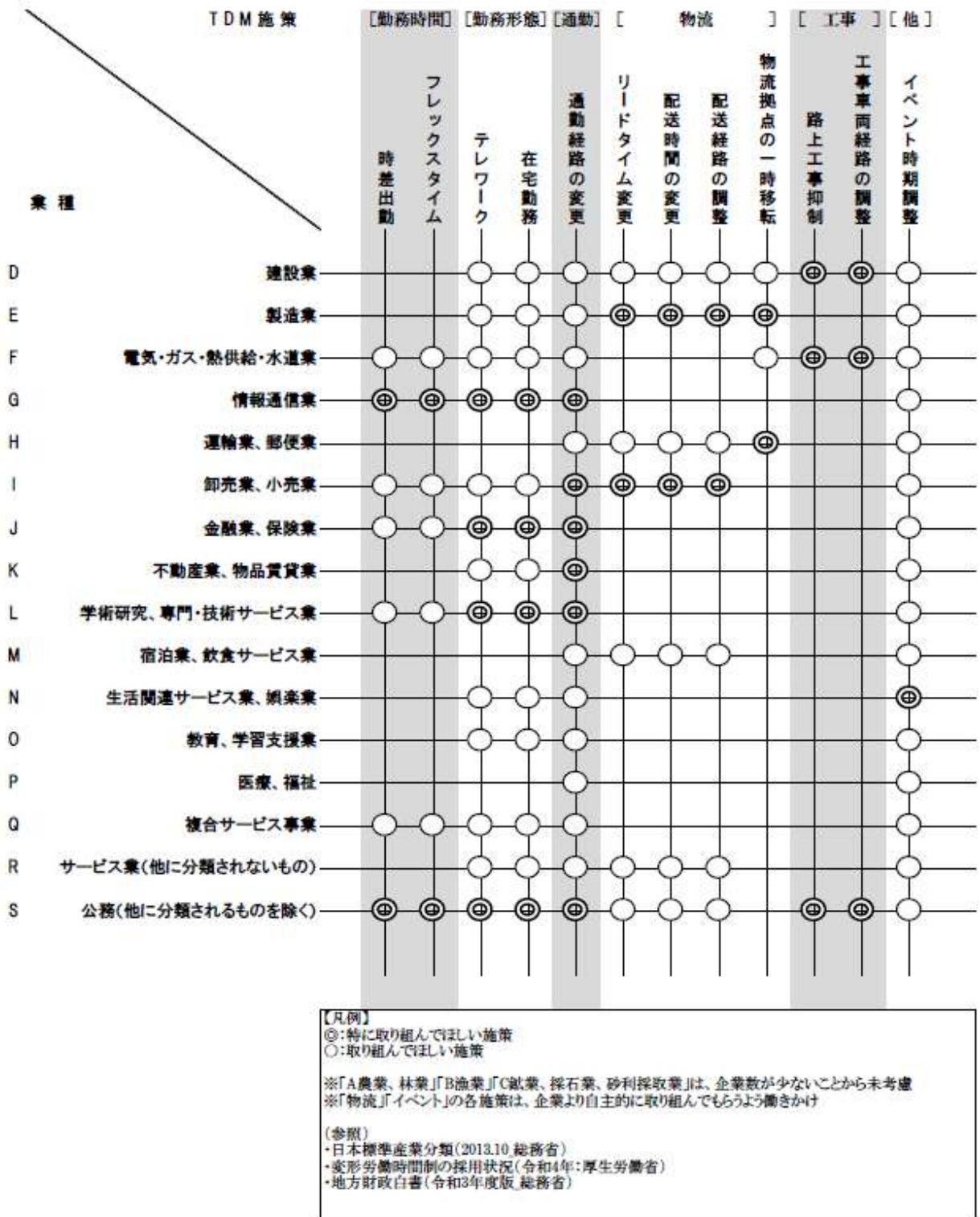


図8 TDM各取組メニューと業種の関係整理図(案)

5. 働きかけの推進

1) 企業への働きかけ

- 企業が TDM に取組むためには、事前に計画を立てて進めていただく必要があることから、早い時期から TDM の必要性を丁寧に説明するなど働きかけを行う
- ア)リーフレットを用いた広報の実施
- イ)「万博 TDM パートナー」登録企業の募集
- ウ)「エリア」と「業種」に応じた効果的な取組の実施
- エ)先導的事例の公表・発信

ア)リーフレットを用いた広報の実施

- 企業ヒアリングの結果、交通混雑の影響を受ける企業は TDM に関心をお持ちで、何に取組むべきか検討するため、万博開催期間中の交通状況を知りたいとのニーズが高いことが分かりました。
- そのため、万博開催期間中の交通状況の理解促進や、TDM の取組をご検討いただくきっかけとして、リーフレットを作成し周知を実施します。

イ)「万博 TDM パートナー」登録企業の募集

- 2024 年 2 月から、万博期間中の一般交通の抑制や分散、平準化の取組にご協力していただく企業・団体を「万博 TDM パートナー」として、1 万事業所を目標に募集を実施します。

ウ)「エリア」と「業種」に応じた効果的な取組の実施

- 企業への効果的な働きかけを行うため、「エリア」と「業種」に応じた働きかけを実施します。

表3 エリア毎の働きかけ内容

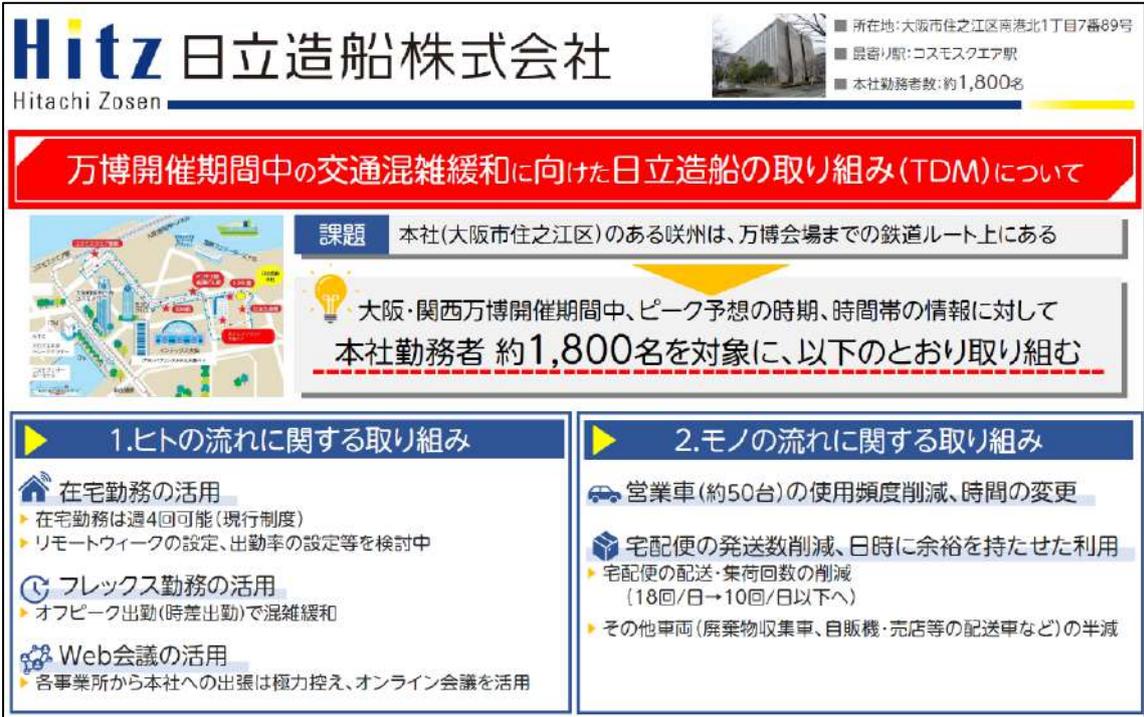
| エリア | 働きかけ内容 |
|--------|---|
| 重点エリア | 万博会場周辺、及び、Osaka Metro 中央線周辺の企業を対象に、資料配布やオンライン説明会の開催 |
| | エリアの協議会・団体を通じて協力依頼 |
| | 区広報誌への掲載、及び、説明会の開催 |
| | 大阪メトロ主要駅、区役所へのチラシ配架 |
| | 企業・団体へ直接協力を依頼 |
| 主要エリア | 大阪メトロ主要駅、区役所へのチラシ配架 |
| | まちづくり推進団体等と連携し働きかけ |
| その他エリア | Web サイトや SNS 等、インターネット媒体を活用し、広域に働きかけ |
| | 府内の関係団体等を通じて情報提供 |
| | TDM推進会議の各団体が有する行事の場を活用した周知・説明 |

表4 業種毎の働きかけ内容

| 業種 | 働きかけ内容 |
|------|-------------------|
| 経済団体 | 会員企業への働きかけ |
| | 会員企業向けの説明会の開催 |
| | 企業・団体へ直接協力を依頼 |
| 業界 | 関係する業界団体への周知・説明 |
| | 業界向けのイベント等を活用した周知 |

エ) 先導的事例の公表・発信

- 重点的に TDM 実施への協力を求めるエリアの企業・事業所を中心に、人流や物流の取組について個別にヒアリングを実施し、協力いただける取組など、先進的・先導的な取組事例を発信する等により、多くの企業に協力いただける環境を整えます。



Hitachi Zosen 日立造船株式会社

所在地: 大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
最寄り駅: コスモスクエア駅
本社勤務者数: 約1,800名

万博開催期間中の交通混雑緩和に向けた日立造船の取り組み(TDM)について

課題 本社(大阪市住之江区)のある咲洲は、万博会場までの鉄道ルート上にある

大阪・関西万博開催期間中、ピーク予想の時期、時間帯の情報に対して
本社勤務者 約1,800名を対象に、以下のとおり取り組む

| 1. ヒトの流れに関する取り組み | 2.モノの流れに関する取り組み |
|--|---|
| 在宅勤務の活用 <ul style="list-style-type: none">▶ 在宅勤務は週4回可能(現行制度)▶ リモートワークの設定、出勤率の設定等を検討中 | 営業車(約50台)の使用頻度削減、時間の変更 |
| フレックス勤務の活用 <ul style="list-style-type: none">▶ オフピーク出勤(時差出勤)で混雑緩和 | 宅配便の発送数削減、日時に余裕を持たせた利用 <ul style="list-style-type: none">▶ 宅配便の配送・集荷回数の削減(18回/日→10回/日以下へ)▶ その他車両(廃棄物収集車、自販機・売店等の配送車など)の半減 |
| Web会議の活用 <ul style="list-style-type: none">▶ 各事業所から本社への出張は極力控え、オンライン会議を活用 | |

図9 先進的・先導的な取組事例①

ミズノ株式会社

2025年大阪・関西万博開催期間中の交通緩和の取り組み

<会社概要>
所在地 大阪市住之江区南港北1-12-35
最寄り駅 コスモスクエア トレードセンター前
大阪本社勤務者数 約1,200名

ヒトの流れに対する取組

テレワーク勤務

ワークライフマネジメント

出社勤務

- テレワーク制度の確立と浸透
コロナ禍に試行していたテレワークを制度化し継続して実施
出勤率50~60%を継続キープ
- フレックス制度による時差出勤
コアタイムを設定しないフレックス制度の実施
1時間みの勤務も可能なスーパーフレックス
- 迂回通勤経路アナウンス
最も混雑が予想される期間については
迂回経路を社内インフォメーションにて掲示し、混雑回避を誘導
- 大型イベント廃止、自社展示受注会の人流制限
過去6月に実施していたインテックス大阪での大規模展示受注会の中止を継続
自社での展示受注会は事前予約により来社人数を制限

- ・通勤時間を削減できるので勤務開始前・終了後の時間を有効活用できる
- ・柔軟な働き方が可能なため、育児・介護等家庭の事情に対応できる

- ・時間単位年休の使用やフレックスタイム制度を活用できるが、テレワークほどの柔軟性はない
- ・オンオフの切り替えがしやすい

インテックス大阪で開催していた新製品展示会を自社開催でコンパクトに。来社時間管理により混雑を避ける。

図 10 先進的・先導的な取組事例②

弊社は大阪・関西万博の円滑な開催に向け、TDMに精一杯のご協力をいたします。

1

人流への取組

| | | |
|-----------|---|--|
| 社内取組 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 在宅勤務の推進 : 事務職員のテレワーク比率上昇。 ◆ 時差出勤の推進 : シフトコントロールによるピークタイムの回避。 ◆ 諸会議のリモート化推進及び会議数の削減 : コロナ禍に導入したZOOM活用範囲を広げる。 ◆ 大阪市内営業時の社用車利用の抑制 : セールスルート効率化し公共交通機関を最大限利用。 ◆ 大阪・関西万博のコア交通経路利用の抑制 : 中央線、御堂筋線通勤者の別ルート利用。 | |
| ゲストへ向けた取組 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ お客様への公共交通機関利用の呼びかけ : 公共交通機関及びシャトルバスの利用推奨を案内。 ◆ お客様への交通状況に関する情報の提供 : 期間中の混雑予想等を案内。 | |

2

物流への取組

- ◆ 設備工事の抑制 : 設備更新及び改修の頻度を低減。
- ◆ 納品の工夫 : 混雑時間帯及び混雑コースの回避。一括発注による納品回数の抑制。
- ◆ エコプランの推進 : 客室のクリーニング回数を減らす取組の実施。アメニティ発注の回数抑制。

3

RIHGA ROYAL HOTELS

企業としての取組

- ◆ 業界への呼びかけ : ホテル協会(大阪兵庫支部)加盟ホテルに対しTDMへの協力を呼びかけ。
- ◆ 取引先への呼びかけ : 協力企業、テナント企業に対しTDMへの協力を呼びかけ。

図 11 先進的・先導的な取組事例③

20

2) 府県市民等への働きかけ

○ 万博開幕 100 日前には、府県市民の方々への働きかけを開始

- 府県市民等への働きかけについては、東京オリンピック・パラリンピックの事例を参考として、開幕の 100 日前を目途に開始します。
- 開幕後は、交通混雑の予測・実態に応じて効果的に働きかけます。
- 働きかけについては、混雑想定区間の鉄道や道路利用者を中心に、交通事業者や道路管理者等と連携し、効果的な広報手段を用いた周知を実施します。

6. TDM トライアルの実施

- TDM 取組の課題抽出、及び、取組による交通量低減の有意性を確認することを目的として、TDM トライアルを実施
- 最も混雑が想定される会期終盤と同時期の 1 年前に期間を設定

- TDM トライアルは、最も混雑が想定される会期終盤と同時期の 1 年前となる、2024 年 9 月 30 日～10 月 4 日に実施します。
- TDM パートナー登録企業の皆様には、万博開催期間中の最も混雑する期間を見据え、テレワーク、時差出勤、混雑経路の迂回などの取組をお願いします。
- TDM パートナー登録企業に加え、TDM 推進会議の構成団体や国出先機関等が TDM トライアルを実施します。
- 多くの企業の方に TDM トライアルを認知いただけるよう、ポスターやチラシを作成し、効果的な広報を行います。
- 万博 TDM パートナー登録企業等に TDM トライアルのご協力いただき、課題を抽出するなど、その結果を分析・検証するとともに、公表・発信することで、万博開催に向けての準備を行います。

7. 万博開催期間中の TDM 実施

○ 開催期間中は 6 月、8 月のお盆以降から 9 月まで TDM の実施を「呼びかけ」、会期終盤の 10 月は TDM の実施を「強く呼びかける」

○ 万博会場の混雑が予測される 2025 年 6 月に実施する TDM の呼びかけの結果の検証を行い、10 月の会期終盤の最混雑期「強く呼びかける」に備えます。

